

# 音声教材について

令和6年度

音声教材普及推進会議

文部科学省初等中等教育局教科書課



文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION, CULTURE, SPORTS,  
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

# 教科用特定図書等について

検定教科書など

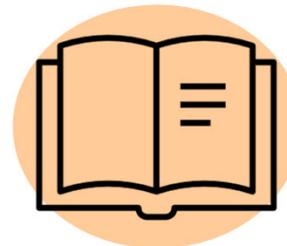


児童生徒

読むのが  
難しい...



検定教科書の代わりに  
拡大教科書や点字教科書  
を使用



児童生徒

大きな文字や  
点字で読める!



教科書に加えて  
音声教材等を使用



児童生徒

音声教材が  
読む助けになる!



文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION, CULTURE, SPORTS,  
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

## 音声教材とは

- 発達障害等により、通常の検定教科書で 사용되는文字や図形等を認識することが困難な児童生徒に向けた教材。

※視覚障害や肢体不自由等、発達障害以外の障害であっても、「障害により教科用図書に掲載された著作物を使用することが困難\*」である場合には提供の対象となる。

\*著作権法第33条の3第1項

- 文部科学省から委託を受けた団体等が製作し、読み書きが困難な児童生徒等に、原則として無償で提供している。
- 教科書の内容を音声で読み上げるほか、読み上げる箇所の高ライト表示や文字の拡大縮小をはじめ、教材によって様々な機能・特色がある。児童生徒の困難の状況に合った教材を選択することが可能。

## 目的(第1条)

- 教育の機会均等の趣旨にのっとり、障害のある児童及び生徒のための教科用特定図書等の普及の促進等を図る
- 児童生徒が障害その他の特性の有無にかかわらず、十分な教育が受けられる学校教育の推進に資する

## 教科用特定図書等の定義(第2条)

- 視覚障害のある児童生徒の学習の用に供するため、文字、図形等を拡大して検定教科書を複製した図書 → 拡大教科書
- 点字により検定教科書を複製した図書 → 点字教科書
- その他障害のある児童生徒の学習の用に供するため、作成した教材であって検定教科書に代えて使用し得るもの → 音声教材等

## 法改正（令和6年6月19日公布・令和6年7月19日施行）の概要

- 教科書の内容を音声化した音声教材は、使用者が随意に教科書の音声情報を入手できる機能を持つこと等から、日本語指導が必要な外国人児童生徒等の抱える困難を軽減させるためにも有効とされている。
- 音声教材は障害のある児童生徒を対象として作成されており、外国人児童生徒等は音声教材を使用して学習することができないため、外国人児童生徒等が音声教材を使用して学習することができるよう、改正が行われた。
- 法改正により、当分の間、文部科学大臣等は、音声教材等の教科用特定図書等を発行する者が障害のある児童生徒及び日本語に通じない児童生徒の両者の学習の用に供するために教科用特定図書等を発行する場合にも、教科書デジタルデータを提供することができるようになった。

従来まで音声教材の提供対象だった障害により検定教科書の使用に困難がある児童生徒に加え、日本語に通じない児童生徒についても音声教材の提供が可能となりました。  
より多くの児童生徒の困難を軽減させるために、提供対象の拡大について積極的な周知をお願いいたします。

# 教科書デジタルデータを活用した拡大教科書、音声教材等普及促進プロジェクト

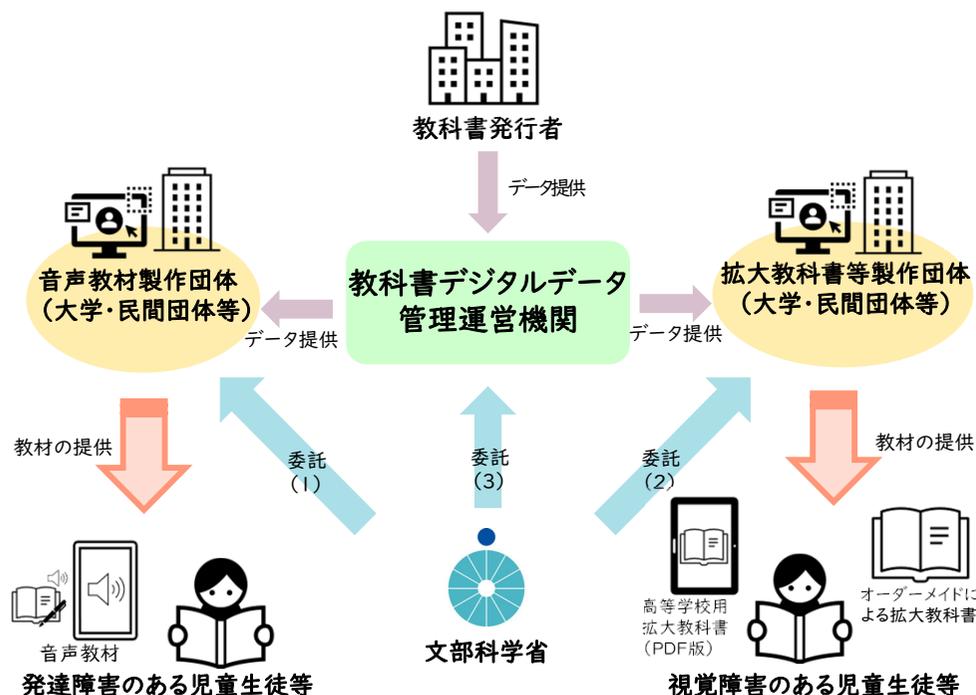
令和7年度要求・要望額 296百万円  
(前年度予算額 269百万円)



文部科学省

## 趣旨

「障害のある児童及び生徒のための教科用特定図書等の普及の促進等に関する法律」等を踏まえ、発達障害や視覚障害等のある児童生徒が十分な教育を受けられる環境を整備するため、教科書デジタルデータを活用した音声教材等に関する効率的な製作方法等や高等学校等における拡大教科書の普及促進等について、実践的な調査研究を実施するなど、障害のある児童生徒の自立・社会参加の加速化に向けた特別支援教育の一層の強化に取り組む。



### (1) 障害のある児童生徒のための教科書デジタルデータを活用した音声教材の効率的な製作方法等に関する調査研究 135百万円 (133百万円)

- 音声教材の効率的な製作方法等に関する調査研究  
音声教材の効率的な製作方法及び提供方法等に関する調査研究を実施。成果物である音声教材を、必要とする児童生徒等へ提供。
- 音声教材普及推進会議  
教育委員会等を対象とした会議を開催し、音声教材の普及推進を図る。

### (2) 高等学校等における拡大教科書の普及促進等に関する調査研究 19百万円 (18百万円)

- 特別支援学校高等部等における教科書デジタルデータ活用に関する調査研究  
高等学校において、タブレットP Cなどの情報端末においてP D F形式の教科書デジタルデータを活用し、拡大教科書と同等に使用しうるための諸条件等に関する調査研究を実施。成果物である高等学校用拡大教科書 (P D F版) を、必要とする生徒等へ提供。

### (3) 教科書デジタルデータ提供等推進事業 142百万円 (118百万円)

- 教科書デジタルデータの変換・管理運営  
教科書発行者から教科書デジタルデータの提供を受け、データ形式の変換等を行った上で、拡大教科書や音声教材等を製作する団体へ提供。

## 成果

- 拡大教科書、音声教材等の製作の効率化により、製作団体等の負担を軽減し、児童生徒へ着実に教材を提供。【上記 (1) ~ (3)】
- 音声教材について、普及推進会議により学校・教育委員会等へ周知徹底。発達障害等のある児童生徒が音声教材にアクセスしやすい環境を整備。【上記 (1)】
- 高等学校等における拡大教科書 (P D F版) の普及促進。【上記 (2)】

担当：初等中等教育局教科書課

# 発達障害のある児童生徒の学習上の困難さについて

発達障害のある児童生徒については、

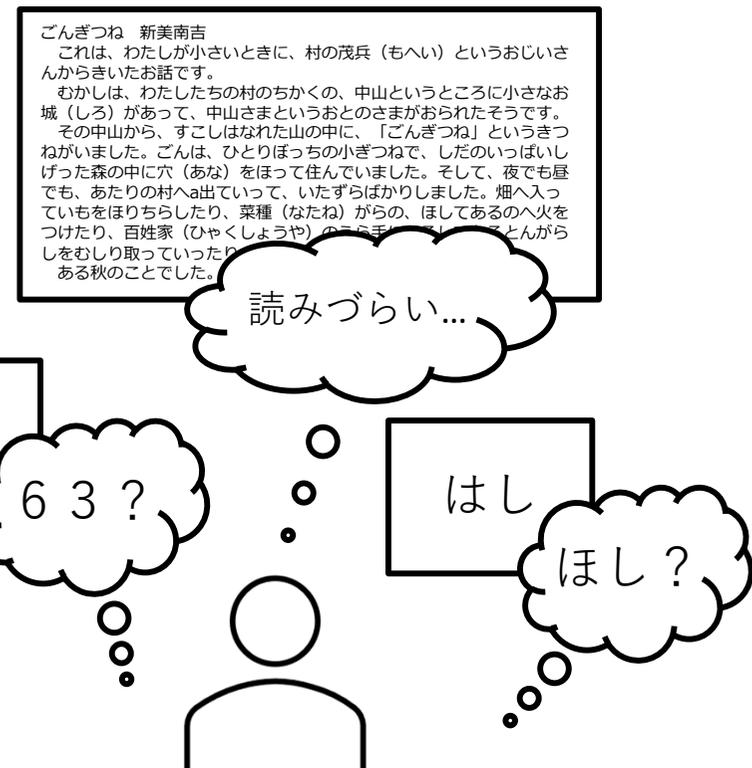
- ・「読む」「書く」「聞く」「計算する」などの学習に必要な能力の習得が困難
- ・同世代の児童生徒に比べて著しく注意力がない
- ・同世代の児童生徒に比べて著しく多動性・衝動性がある

など、一人一人について障害の状態が異なり、教科学習等に大きな困難を抱えている。

## 【読むことが困難な例】

知的や視覚・聴覚に問題はないが、

- ・文字を認識することが難しく、流暢に読めない
  - ・長い文章を正確に早く読むことが難しい
  - ・音読が遅い
  - ・逆さ読みをする（「36」→「63」など）
  - ・字の形を混同する（「はし」→「ほし」など）
- など、児童生徒によって様々な困難があります。



# 通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする 児童生徒に関する調査結果(令和4年)

表4 質問項目に対して学級担任等が回答した内容から、「学習面、行動面の各領域で著しい困難を示す」とされた児童生徒数の割合

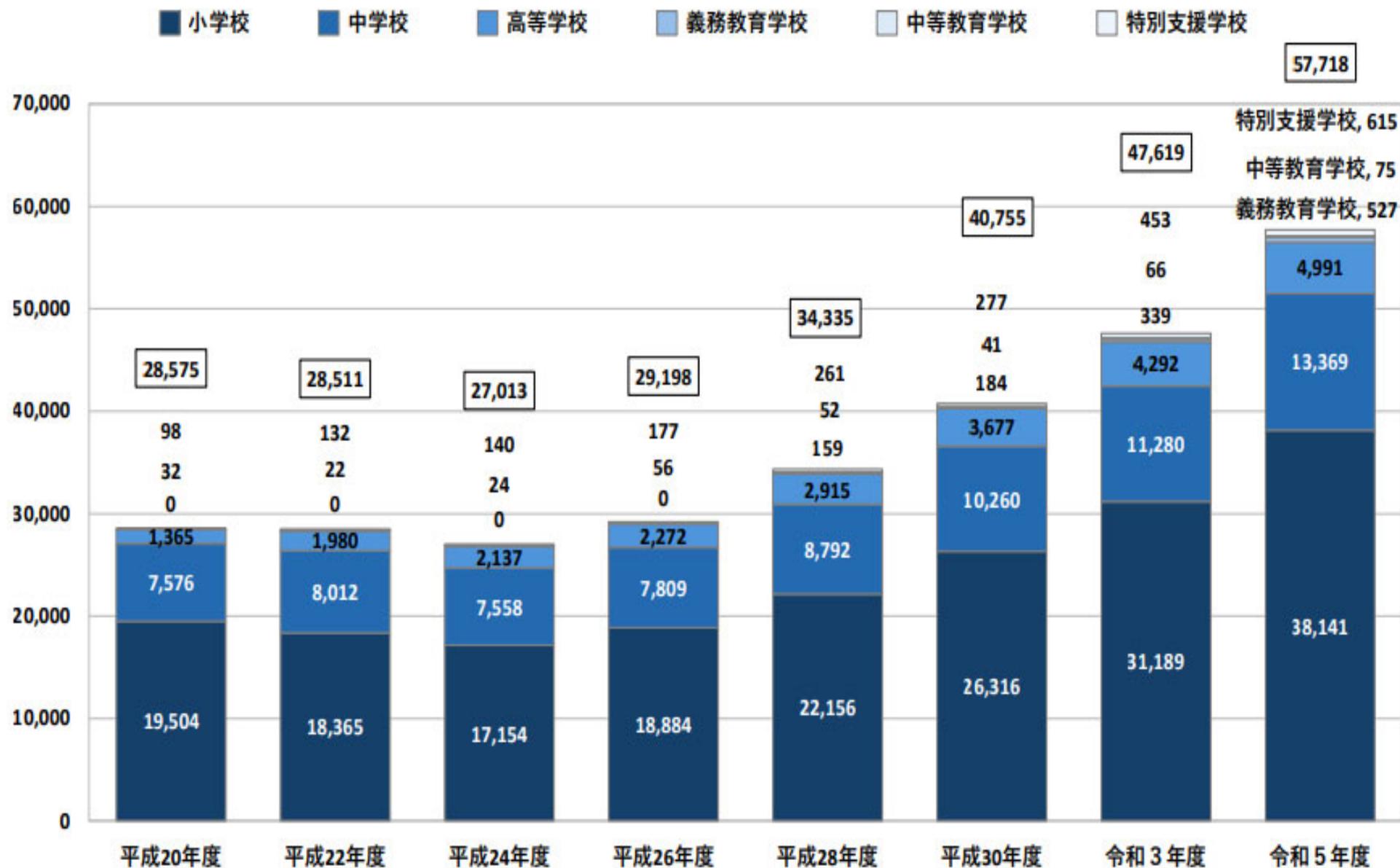
<小学校・中学校>	推定値	(参考) 平成24年調査
「聞く」又は「話す」に著しい困難を示す	2.5%	1.7%
「読む」又は「書く」に著しい困難を示す	3.5%	2.4%
「計算する」又は「推論する」に著しい困難を示す	3.4%	2.3%
「不注意」の問題を著しく示す	3.6%	2.7%
「多動性－衝動性」の問題を著しく示す	1.6%	1.4%
「対人関係やこだわり等」の問題を著しく示す	1.7%	1.1%

<高等学校>	推定値
「聞く」又は「話す」に著しい困難を示す	0.5%
「読む」又は「書く」に著しい困難を示す	0.6%
「計算する」又は「推論する」に著しい困難を示す	0.6%
「不注意」の問題を著しく示す	0.9%
「多動性－衝動性」の問題を著しく示す	0.2%
「対人関係やこだわり等」の問題を著しく示す	0.5%

※ 本調査は、学級担任等による回答に基づくもので、発達障害の専門家チームによる判断や医師による診断によるものではない。  
従って、本調査の結果は、発達障害のある児童生徒数の割合を示すものではなく、特別な教育的支援を必要とする児童生徒の割合を示すことに留意する必要がある。

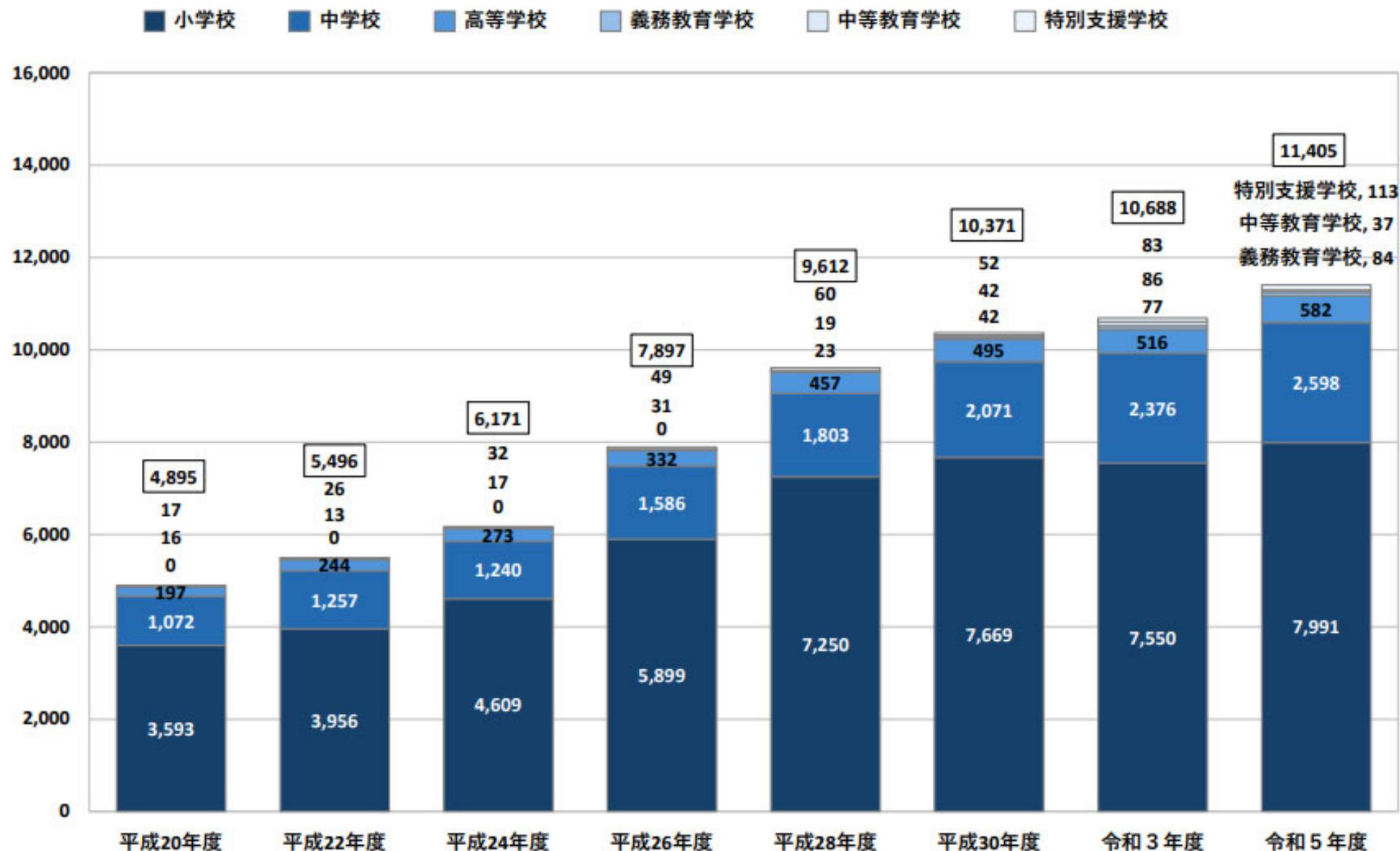
詳細な調査結果はこちら↓  
[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/houdou/2022/1421569\\_00005.htm](https://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/2022/1421569_00005.htm)

# 日本語指導が必要な外国籍の児童生徒数



日本語指導が必要な児童生徒の受入状況等に関する調査(令和5年度)より  
 ※令和5年5月1日現在で行った調査の結果

# 日本語指導が必要な日本国籍の児童生徒数



日本語指導が必要な児童生徒数は、令和5年度現在、合計69,123人。

日本語指導が必要な児童生徒の受入状況等に関する調査（令和5年度）より  
 ※令和5年5月1日現在で行った調査の結果

# 音声教材の概要

※令和6年度「音声教材の効率的な製作方法及び普及促進に関する調査研究」  
受託団体によるもの

## マルチメディアデジター教科書 (公益財団法人日本障害者リハビリテーション協会)

<https://www.dinf.ne.jp/doc/daisy/book/daisytext.html>

○主な特徴: 専用のアプリケーションまたは端末のブラウザ機能(オンライン)で使用する。

音声、本文等テキスト、挿絵等の図版を含む。ハイライト機能、ルビ表示機能等あり。  
音声は肉声及び合成音声。**視覚と聴覚から同時に情報が入り内容理解がしやすい。**  
小学校・中学校の教科書を中心に作成。

○Windows, iOS, Android, Chromeで使用可能。

○利用者実績: 24,560人(令和5年度)



## ペンでタッチすると読める音声付教科書

(茨城大学)

<http://apricot.cis.ibaraki.ac.jp/textbook/>

○主な特徴:

パソコンやタブレット等のICT端末は使わず、**紙冊子と音声ペン**で使用する。

紙冊子は通常の教科書と見た目がほぼ同じで、鉛筆等で書き込み可能。

持ち運びしやすく、小学校低学年でも簡単に一人で操作できる。

音声ペンで文字をタッチして読むことで意識が紙面に向き、能動的な読書になる。

音声は肉声。小学校・中学校の国語・社会の教科書を中心に作成。

○利用者実績: 976人(令和5年度)



## AccessReading

(東京大学先端科学技術研究センター)

<https://accessreading.org/>

○主な特徴: **Microsoft Wordや電子書籍リーダーのアクセシビリティ機能を使用**する。

本文等テキスト、挿絵等の図版を含む。読み上げは合成音声。

文字の大きさ、色の変更、ハイライト機能など、アプリの機能で様々な調整が可能。

小学校高学年・中学校・高校の教科書を対象。

○Microsoft Wordまたは電子書籍リーダーが使用できるOSで使用可能。

○利用者実績: 165人(令和5年度)



## UD-Book

(広島大学)

<https://home.hiroshima-u.ac.jp/ujima/onsei/index.html>

○主な特徴: 専用のアプリケーションまたは端末のブラウザ機能(オンライン)で使用する。

**固定表示(原本教科書に似せた表示)・行移表示(文字だけの表示)**の両方で、テキストを合成音声で読み上げる。固定表示・行移表示を同時に表示することや、固定表示では見開き表示をすることが可能。ハイライト機能、ルビ表示機能等あり。

小学校・中学校・高等学校の教科書を対象。

○Windows, iOS, macOS, Chromeで使用可能。

○利用者実績: 160人(令和5年度)



## 音声教材BEAM

(NPO法人エッジ)

<https://accessreading.org/>

○主な特徴: **Microsoft Wordや電子書籍リーダーのアクセシビリティ機能を使用**する。

本文等テキスト、挿絵等の図版を含む。読み上げは合成音声。

文字の大きさ、色の変更、ハイライト機能など、アプリの機能で様々な調整が可能。

小学校高学年・中学校・高校の教科書を対象。

○Microsoft Wordまたは電子書籍リーダーが使用できるOSで使用可能。

○利用者実績: 165人(令和5年度)



## UNLOCK

(愛媛大学)

<http://treasure.ed.ehime-u.ac.jp/unlock/index.html>

○主な特徴: **パソコン・タブレット端末か音声ペンでの利用を選択可能。**

音声ペンの場合、紙の教科書に再生用シールを貼って使用する。

パソコン・タブレット端末の場合、音声データ(MP3)とテキストのPDF・EPUBを提供。

音声は合成音声。児童生徒の障害特性や状態によっては、音声の種類(男女の声質・話し

方)・再生速度の選択を相談可能。

小学校・中学校・高等学校の教科書を対象。

○利用者実績: 75人(令和5年度)



## 使用方法・ 対応OS

Windows, iOS, Android, Chrome  
アプリケーションによる再生(ダイジーポッド、ChattyBooks、いーリーダー、しゃべる教科書、ボイスオブダイジー5)、ブラウザ再生

## 教材の構成

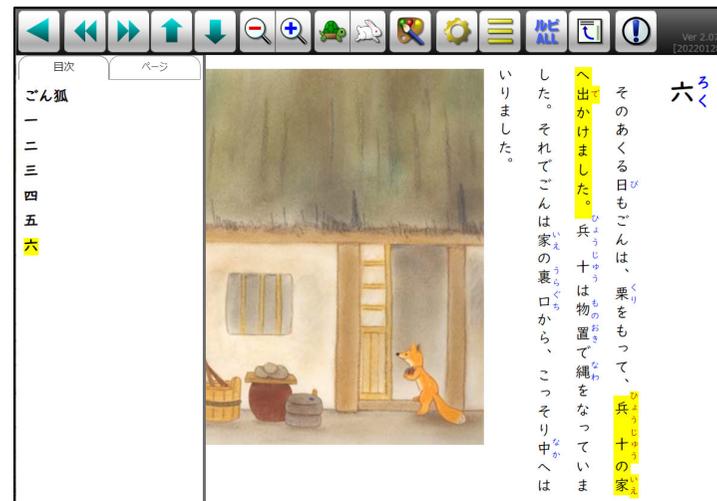
テキスト、挿絵、音声

## 対応している 教科書

小学校(全教科) 中学校(全教科)

## 読み上げ 音声

肉声又は合成音声(教材により異なる)



## その他の 機能

- ハイライト機能、ルビ表示(総ルビ、教科書ルビ、学年段階ごと)、分かち書き(一部の教材で対応)、縦書き・横書きの変更、文字の拡大・縮小、文字色・背景色の変更 等
- 音声とテキストが同期し、画像も表示されることにより、視覚と聴覚から同時に情報が入り、内容理解がしやすい。
- 学習障害、発達障害をはじめ、多くの読みに困難をかかえている生徒に対応。

## サンプル

- 教材のサンプル <https://www.dinf.ne.jp/doc/daisy/book/daisytext.html>  
※上記ページの中ほどに公開しています。
- ブラウザ再生のデモ <https://mpf.jsrpd.jp/>  
デモ用アカウント情報 ログイン名:10025 パスワード:12345678

## その他の 情報

提供している教材リストを公開しています。  
[https://www.dinf.ne.jp/doc/daisy/book/daisytext\\_r5.html](https://www.dinf.ne.jp/doc/daisy/book/daisytext_r5.html)

## 使用方法・ 対応OS

Windows, iOS, iPadOS, macOS, Android, Chrome  
DOCX形式: Microsoft Word  
EPUB形式: iOSのブック、Android, ChromebookのGooglePlayブックス等

## 教材の構成

テキスト、挿絵

## 対応している 教科書

小学校(高学年)、中学校、高等学校  
(いずれも地図、書写を除く)

## 読み上げ 音声

合成音声(リーダーの読み上げ機能を使用)

## その他の 機能

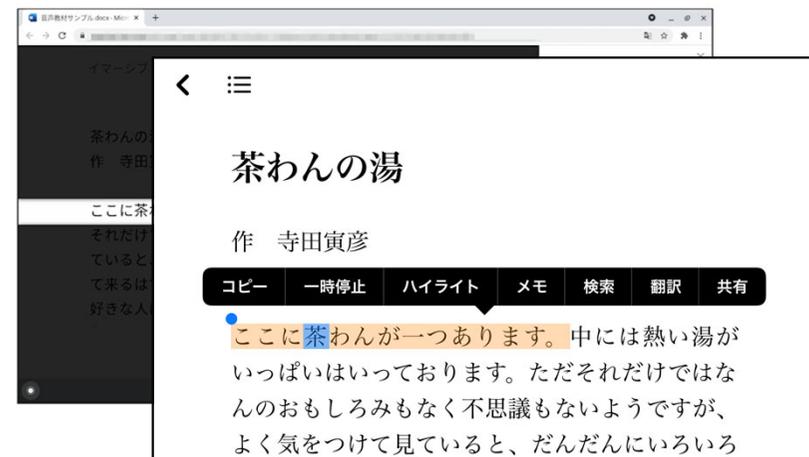
- 文字の大きさ、色の変更、ハイライト機能など、使用するアプリの機能で様々な調整が可能。
- Word版とEPUB版の2種類を作成。パソコン等のアクセシビリティ機能を使用する。

## サンプル

<https://accessreading.org/sample.html>

## その他の 情報

- 提供している教材リストを公開しています(月に1度更新しています)。  
[https://accessreading.org/e-text\\_list.html](https://accessreading.org/e-text_list.html)
- 音声教材情報提供サイトを公開しています。  
<https://accessreading.org/aem/>



# 音声教材BEAM (NPO法人エッジ)

教材についての詳細: <https://www.npo-edge.jp/use-edge/beam/>

使用方法・  
対応OS

MP3を再生できる全ての機器(パソコンやタブレット、スマートフォン、ICレコーダー等)で  
使用可能

教材の構成

音声

対応している  
教科書

小学校(国語・社会) 中学校(国語・社会・理科) 高等学校(国語・社会)

読み上げ  
音声

肉声に近い合成音声

その他の  
機能

音声のみの教材であるため、データ容量が軽く、操作が簡便で、耳からの情報に集中できる。

サンプル

<https://www.youtube.com/playlist?list=PLURmXYpULEEsDUAKa7UHNKLWj6pON5MP8>

その他の  
情報

BEAMに関する情報をYoutubeでご覧いただけます。

<https://www.youtube.com/playlist?list=PLURmXYpULEEvmaghAChId7-3PZJn5IFIq>



# ペンでタッチすると読める音声付教科書（茨城大学）

教材についての詳細：<http://apricot.cis.ibaraki.ac.jp/textbook/>

## 使用方法・ 対応OS

紙冊子と音声ペン（パソコンやタブレット等は使用しない）

## 教材の構成

通常の教科書と見た目がほぼ同じ紙冊子、音声ペン（SDカードにデータを格納）

## 対応している 教科書

小学校（国語・社会） 中学校（国語・社会）

## 読み上げ 音声

肉声



## その他の 機能

- 紙冊子には鉛筆等で書き込み可能。
- 持ち運びしやすく、小学校低学年でも簡単に一人で操作できる。
- 音声ペンで文字をタッチして読むことで意識が紙面に向き、能動的な読書になる。
- 拡大版も提供可能。

## サンプル

インターネット上でのサンプル公開はありませんが、申請を検討中の方を対象に、音声付教科書の短期貸し出しを行っています。

<http://apricot.cis.ibaraki.ac.jp/textbook/rental.html>

## その他の 情報

- 提供している教材リストを公開しています。  
<http://apricot.cis.ibaraki.ac.jp/textbook/about.html>
- 初期費用として音声ペンの購入等が必要です。

# 文字・画像付き音声教材 UD-Book (広島大学)

教材についての詳細: <https://home.hiroshima-u.ac.jp/ujima/onsei/index.html>

## 使用方法・ 対応OS

Windows, iOS, macOS, Chrome  
アプリケーション(UD-Bookリーダー)(無料)による再生

## 教材の構成

テキスト、挿絵(全ての図表等)、音声  
固定表示(原本教科書に似せた表示)・行移表示(文字だけの表示)が可能

## 対応している 教科書

小学校 中学校 高等学校(それぞれ全教科)

## 読み上げ 音声

読み方を指定した合成音声

## その他の 機能

- 読み上げ、ハイライト機能、ルビ表示(総ルビ)、縦書き・横書きの変更、文字の拡大・縮小、フォントの変更、文字色・背景色の変更 等(固定表示は原本のレイアウトを保持するため一部機能に制限があります。)
- 固定表示、行移表示の同時表示。固定表示では見開き表示
- 線などの描き込み、テキストのメモ機能、ページ番号の指定表示等
- ハイライト領域サイズの長・短設定、音量・読み速度の設定 等

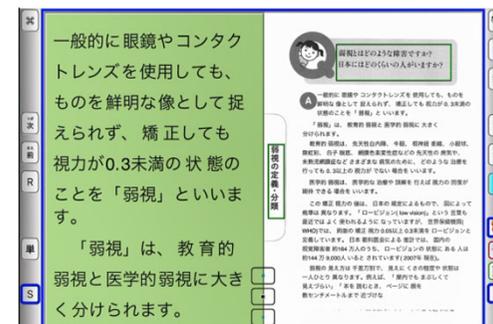
## サンプル

- 教科書ではない図書によるサンプル教材を提供しています。  
取得方法や使用方法等についてもホームページにて掲載しています。

<https://home.hiroshima-u.ac.jp/ujima/onsei/3riyouhou.html>

## その他の 情報

- 導入時の読みの評価、導入後の授業での活用など音声教材の効果を最大化するための相談やサポートを実施しています。
- 令和5年度よりUD-Book(オンライン版)の提供を行います。



# UNLOCK (愛媛大学)

教材についての詳細: <http://treasure.ed.ehime-u.ac.jp/unlock/index.html>

## 使用方法・ 対応OS

Windows, iOS, iPadOS, macOS, Android, Chrome  
音声はMP3を再生できる全ての機器で使用可能

## 教材の構成

テキスト、音声

## 対応している 教科書

小学校 中学校 高等学校(それぞれ全教科)

## 読み上げ 音声

合成音声(基本的には女性の声。ただし、児童生徒の障害特性や状態によっては、男性・女性、明るい声・落ち着いた声の選択は相談可能。)

## その他の 機能

- パソコンやタブレット端末、音声ペンにより利用可能。
- 音声ペンの場合は、音声のみの教材(紙の教科書に再生用シールを貼って使用)。
- パソコンやタブレット端末にて利用する場合、音声データと、テキストを表示するPDF・EPUBを提供。
- 児童生徒の障害特性や状態によっては、音声の種類(男女の声質・話し方)・再生速度の選択を相談可能。

## サンプル

音声のサンプルを公開しています。  
各端末の紹介・使用方法等についてもホームページにて掲載しています。  
<http://treasure.ed.ehime-u.ac.jp/unlock/paper.html>

## その他の 情報

学内のインクルージブ教育相談事業と連携し、導入時の読みの評価・導入後の授業での活用など、利用者・学校へのサポートを実施しています。



(参考) 主に視覚障害等のある児童生徒が活用する教材

※文字の拡大機能に重点を置いたもの

## PDF版拡大図書（慶應義塾大学）

教材についての詳細：<https://psylab.hc.keio.ac.jp/app/UDB/>

使用方法・  
対応OS

iOS  
アプリケーション(UDブラウザ)(無料)による再生

教材の構成

テキスト、挿絵(全ての図表等)、音声  
教科書紙面のPDF表示、文字のみのリフロー表示が可能

対応している  
教科書

高等学校用教科書(全教科)

読み上げ  
音声

合成音声

その他の  
機能

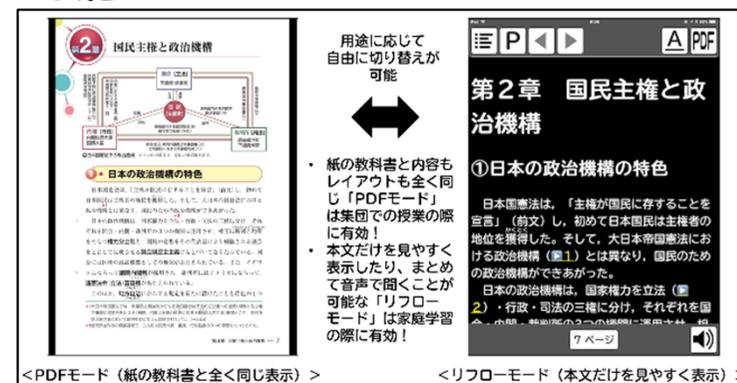
- iPadにより利用可能。
- 教科書紙面のPDFを表示する画面と、UDフォントでのリフロー表示機能がある。
- 特定のページへのジャンプ、書き込みやマーカーの使用、しおり機能等がある。

サンプル

機能等について、ホームページにて説明しています。  
<https://psylab.hc.keio.ac.jp/DLP/>

その他の  
情報

高等学校用教科書について、文部科学省初等中等教育局教科書課の委託事業により提供しています。別途、小学校用及び中学校用の教科書についても製作・提供を行っています。



○ 学校の授業における利用や、家庭での予習・復習における利用が可能。

(例)

- 一斉授業において

国語の音読の時間に、イヤホンを使用して音声教材の読み上げ音声を聞く。

ルビふり機能や分かち書き機能等を使用して、児童生徒にとって読みやすい表示にする。

- 通級指導や家庭学習において

授業の予習として、読み上げ機能により、教科書の内容を音声で聞いて把握する。

ハイライト表示やルビふり機能等により文章を確認しながら、音読の練習をする。

⇒ 「読むこと」にかかる負荷を軽減し、内容の理解に注力することができる。

# 日本語に通じない児童生徒への音声教材の活用

外国人児童生徒等への日本語指導における支援方法

【4】教科書の「読み」に困難がある場合、どのような支援をしていますか。(複数回答可)

	具体的な支援の状況	割合	
		小学校	中学校
2	教科書を拡大コピーしたものを用意する。 ・ <b>デイジー</b> ：文字の大きさを変更することができる。	17.5%	0%
3	単語や文節の切れ目に印（スラッシュ・斜線）を付ける。 ・ <b>デイジー</b> ：読んでいるフレーズをハイライトする。	55%	35%
4	読む箇所を指で指し示す。 ・ <b>デイジー</b> ：読んでいるフレーズをハイライトする。	82.5%	65%
5	漢字にひらがなでルビを付ける。 ・ <b>デイジー</b> ：漢字にルビを付けることができる。	87.5%	75%
7	ルビの追加教科書本文を用意する。 ・ <b>デイジー</b> ：漢字にルビを付けることができる。	30%	65%
1 5	教科書を音読したものを用意する（音声教材） ・ <b>デイジー</b> ：文を音声で読んでくれる。	2.5%	0%

(出典:令和元年度 外国人児童生徒等における教科用図書の使用上の困難の軽減に関する検討会議 第1回(令和元年8月14日)  
資料6(豊橋市教育委員会築樋委員提出資料))

これまで実際に行っている支援方法に代えて、音声教材の機能が有効です。  
音声教材の積極的な御活用を御検討ください。

## これまでに寄せられた活用事例

音声教材ごとの具体的な活用方法等は、このあと音声教材製作団体よりご説明しますが、文部科学省に寄せられた活用事例を掲載します。

読み書き障害の児童が通級指導教室で使用。一人一台端末に音声教材をダウンロードした。文章の読み上げ音声を聞いてから学習に取り組むと、学習内容の理解を深めるのに有効だった。

学習障害で逐次読みになってしまう児童がおり、読むだけで力を使い果たしてしまい、内容の学習が困難になっている。音声教材で速度を落とした音声に沿って読むことで、音読の練習になるとともに、内容の理解にもつながっている。

音声教材の使用をきっかけに、通常のインターネットサイトの読み上げ機能なども活用し始めた児童がおり、好ましい変化だと感じた。

読みの困難に加えて吃音がある場合でも、音声に合わせて読むという意識で読むと吃音が出にくく、児童が自信をもって読めることが多い。

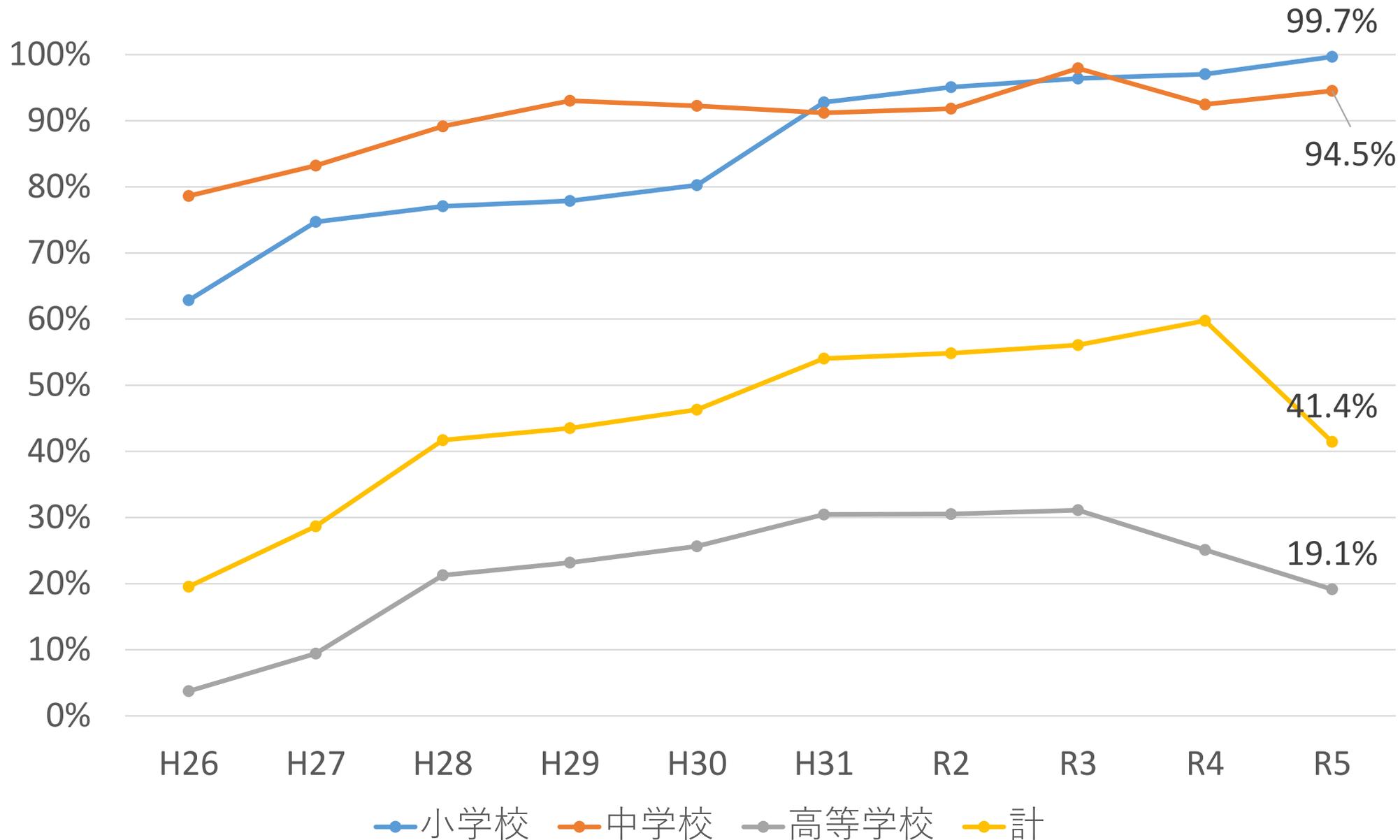
文字の読みに困難があることに担任が気づき、テストは音声ペン、家庭での音読は音声機能付きの教科書を使用し始めた。6年生では社会のテストで100点をとることができた。

日本語の理解が難しい生徒にデイジー教科書を提供した。自主学習でも教科書読み上げを利用し、内容理解に役立っている。

通常学級での授業において、合理的配慮としてイヤホンを用いて音声教材を使用している。

# 音声教材の発行割合 推移

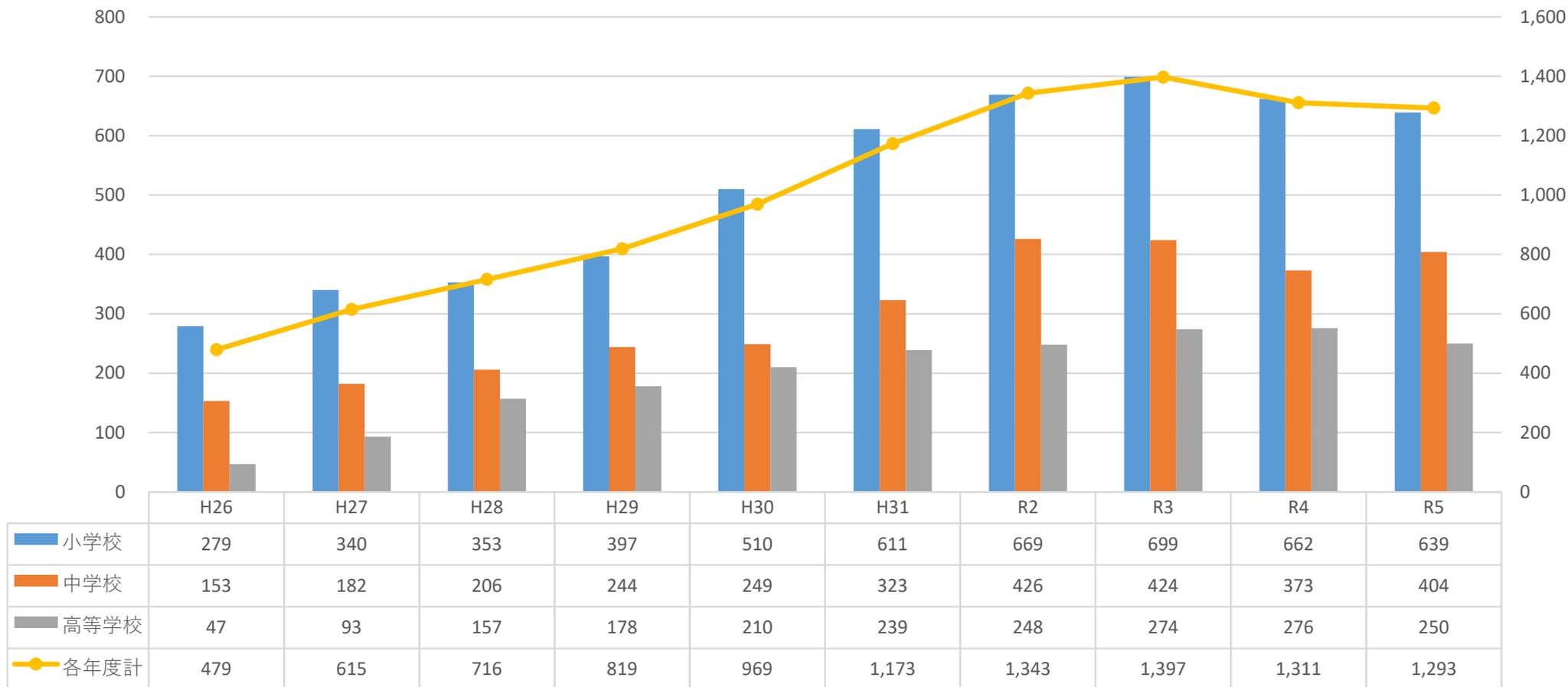
## 音声教材の発行割合



# 音声教材の発行点数 推移

※文部科学省委託事業の受託団体による発行点数の合計

音声教材発行点数（延べ数）



# 音声教材の提供人数 推移

※文部科学省委託事業の受託団体による提供人数の合計

	(人)	H31	R2	R3	R4	R5
小学校		11,208	13,799	14,318	18,143	22,519
中学校		2,165	2,579	2,754	2,877	3,438
高等学校		119	132	139	100	110
合計		13,492	16,510	17,211	21,120	26,067



# 令和6年度使用教科書に係る音声教材需要数調査結果

## ○都道府県別必要児童生徒数(小学校・中学校 合計)

県名	必要児童生徒数	需要数
北海道	256	1,341
青森県	19	107
岩手県	482	2,780
宮城県	122	721
秋田県	45	79
山形県	97	955
福島県	273	2,133
茨城県	1,122	7,176
栃木県	236	1,079
群馬県	181	834
埼玉県	805	7,820
千葉県	519	3,212
東京都	545	4,059
神奈川県	1,957	4,892
新潟県	1,216	6,799
富山県	433	3,340

県名	必要児童生徒数	需要数
石川県	322	1,727
福井県	653	2,548
山梨県	296	1,554
長野県	2,824	13,679
岐阜県	835	3,870
静岡県	1,119	10,446
愛知県	1,566	4,211
三重県	167	671
滋賀県	395	2,218
京都府	426	3,344
大阪府	3,079	16,006
兵庫県	965	5,549
奈良県	491	5,096
和歌山県	249	1,515
鳥取県	135	669
島根県	315	1,977

県名	必要児童生徒数	需要数
岡山県	445	1,224
広島県	613	3,647
山口県	253	1,527
徳島県	17	109
香川県	48	193
愛媛県	73	475
高知県	65	608
福岡県	1,124	5,513
佐賀県	275	2,028
長崎県	197	1,627
熊本県	687	2,597
大分県	257	1,096
宮崎県	58	302
鹿児島県	372	3,167
沖縄県	359	2,280
計	26,988	148,800

## ○学級種別等別必要児童生徒数・需要数

種別	必要児童生徒数	需要数
通常学級	10,946	54,891
特別支援学級	15,779	92,456
特別支援学校	263	1,453
計	26,988	148,800

※令和5年10月(10月末日提出期限)

※必要児童生徒数とは、障害により音声教材を必要とする又は必要と見込まれる児童生徒として学校等が判断した者の数。

## ○都道府県内の児童生徒数に対する音声教材を必要とする児童生徒数の割合(※)

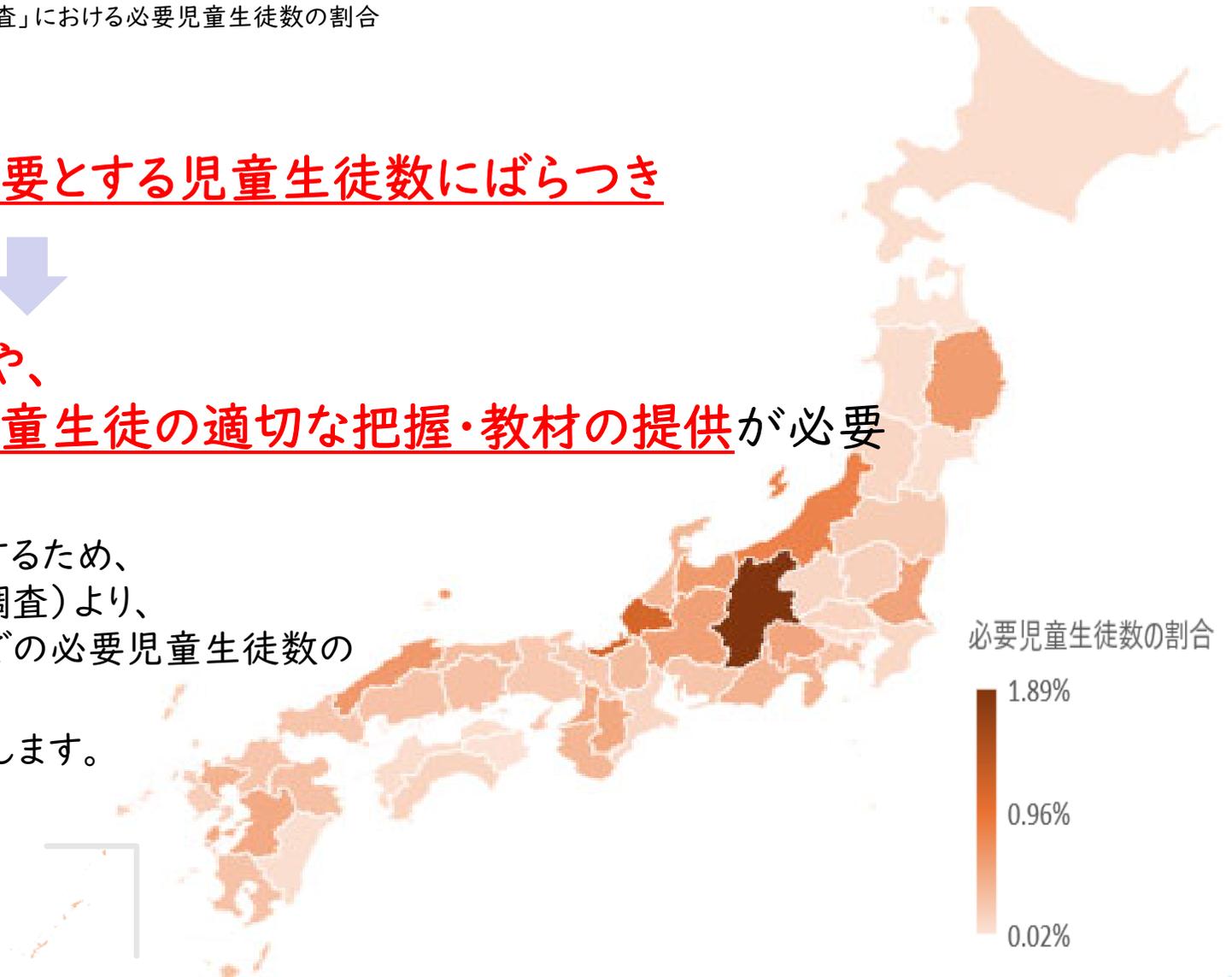
※「学校基本統計(速報)」における令和6年5月1日時点の小学校・中学校・義務教育学校・中等教育学校前期課程の児童生徒数に対する、「令和6年度使用教科書に係る音声教材需要数調査」における必要児童生徒数の割合

### 地域により音声教材を必要とする児童生徒数にばらつき



### 音声教材の認知度向上や、 音声教材を必要とする児童生徒の適切な把握・教材の提供が必要

各地域の実態をより詳細に把握するため、本年度調査(令和7年度の需要調査)より、都道府県に加え、市区町村単位での必要児童生徒数の報告を依頼しております。  
御協力のほどよろしくお願いいたします。



# 音声教材の提供を受けるには

- 音声教材の提供を受けるためには、音声教材を製作する団体に直接、利用申請を行ってください。
- 利用申請は、各団体で随時受け付けています。
- 各団体のホームページに申請方法等について案内が掲載されていますので、確認してください。
- 各団体のホームページへのリンクは、文部科学省HPにも掲載されていますので、下記URL又はQRコードから御活用ください。

[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/kyoukasho/1374019.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/kyoukasho/1374019.htm)



- 音声教材の申請から提供までに要する期間等については、各団体により製作状況や提供状況が異なりますので、各団体にお問い合わせください。

音声教材はそれぞれ機能・特徴が異なります。

各団体のHP等においてもサンプルが提供されていますので御活用のうえ、それぞれの児童生徒の困難の状況に合った教材を選択してください。

# 音声教材の申請方法

申請に必要な情報は下記のとおりです。下記内容について、音声教材製作団体へ申請してください。

(申請に必要な情報)

- ◆ 提供を希望する教科書の種類
- ◆ 申請者(教育委員会・学校関係者・保護者等)の情報・連絡先等
- ◆ 使用者(児童生徒)の情報(学年・在籍学級・音声教材の利用状況)



# 音声教材についてよくある質問

音声教材に関してよくいただくご質問について、文科省HPに回答を掲載しています。  
下記のほかにもQ&Aを掲載していますので、ご覧ください。

## 質問一覧

### 1. 利用対象者

- ▶ [質問1: 音声教材使用の対象となる児童生徒の障害はどのようなものですか。](#)
- ▶ [質問2: 通常学級に在籍する児童生徒も使用することは可能ですか。](#)
- ▶ [質問3: 在籍している学年・学校より上の学年・学校の教科書の音声教材を使用することは可能ですか。](#)
- ▶ [質問4: 音声教材を使用するべきかどうかのアセスメントはどのように行えばよいですか。](#)
- ▶ [質問5: 音声教材を教員等が使用することはできますか。](#)
- ▶ [質問6: 音声教材は外国人児童生徒や帰国児童生徒も使用することは可能ですか。](#)

### 2. 音声教材の提供について

- ▶ [質問7: 音声教材を入手するためにはどのような手続が必要ですか。](#)
- ▶ [質問8: 音声教材の申請には、医師による診断書・意見書は必要ですか。](#)
- ▶ [質問9: 個人の申請の他、市町村教育委員会単位での申請のケースもあるようですが、そのような方法も可能ですか。](#)
- ▶ [質問10: 入手するための申請手続は、いつ行えばよいですか。](#)
- ▶ [質問11: 音声教材の使用に費用はかかりますか。また、準備する機器などはありますか。](#)

HPにも掲載されていないご不明点は、  
お近く教育委員会又は文部科学省まで  
お問い合わせください。

文部科学省HP

[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/kyoukasho/1378518.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/kyoukasho/1378518.htm)



文部科学省問合せ先:

初等中等教育局 教科書課 教科用特定図書普及推進係  
03-5253-4111(内線4743)



# 音声教材に関する情報

## 文部科学省HP

[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/kyoukasho/1374019.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/kyoukasho/1374019.htm)



トップ > 教育 > 小学校、中学校、高等学校 > 教科書 > 教科用特定図書等(拡大教科書、点字教科書、音声教材) > 音声教材

### ● 音声教材

#### 音声教材とは？

発達障害等により、通常の検定教科書では一般的に使用される文字や図形等を認識することが困難な児童生徒に向けた教材です。パソコンやタブレット等の端末を活用し、教科書の内容を音声で読み上げる等の機能があります。

■ [音声教材の概要 \(PDF:789KB\)](#)

#### 「音声教材の効率的な製作方法等に関する調査研究」受託団体のホームページ

文部科学省では音声教材の製作についての委託調査研究を実施しており、令和5年度には六つの団体が音声教材を製作し、必要な児童生徒に対して原則として無償で提供しています。

- [日本障害者リハビリテーション協会「マルチメディアデジ教科書」\(日本障害者リハビリテーション協会ホームページにリンク\)](#)
- [東京大学先端科学技術研究センター「Access Reading」\(東京大学先端科学技術研究センターホームページにリンク\)](#)
- [NPO法人エッジ「音声教材BEAM」\(NPO法人エッジホームページにリンク\)](#)
- [茨城大学「ペンでタッチすると読める音声付教科書」\(茨城大学ホームページにリンク\)](#)
- [広島大学「文字・画像付き音声教材」\(広島大学ホームページにリンク\)](#)
- [愛媛大学教育学部「愛媛大学UNLOCK」\(愛媛大学ホームページにリンク\)](#)

#### 音声教材普及推進会議

- ・ 音声教材の概要
- ・ 各団体のURLリンク
- ・ 音声教材普及推進会議の配布資料等
- ・ 音声教材に関するQ&Aなどを掲載しています。

本日の資料も掲載します。  
ご活用ください。



# 児童生徒のニーズに合った方法を!

